

令和2年度 名古屋若松寮・はぐみ 事業計画

1. 事業方針

- (1) 施設移管後5年目を迎えた。これまでの積み上げを通して、より一層の基盤を整え民間法人としての名古屋若松寮の良さを引き出せるようにしていく。
- (2) 名古屋市社会的養育推進計画に基づいて、名古屋若松寮としての整備と体制強化を図っていく。

2. 事業運営基本計画（事業目標）

- (1) 子ども個々の状況を把握し、安全で安心できる生活環境作りに努める。
- (2) 子どもの権利擁護に努め、職員の質の向上と支援充実を図る。
- (3) 自立に向けた自主性を育てる支援を目指す。
- (4) 家庭的な食環境の整備に努め、子どもたちの食育に繋げる。
- (5) 名古屋市社会的養育推進計画に基づいて、整備と体制強化を図る。

3. 具体的計画

- (1) 小規模グループケアという特性を活かし、集団的支援と個別的支援のバランスを考慮しつつ適切な支援を行う。また、子ども個々の状況を把握し、出来る限り個別の対応をし、全ての子どもが安全に安心して暮らせる生活環境を整える。
- (2) 子ども会議や個別のヒアリング、日常の生活の中でも、意見表明できる場を保証し、子どもたちの声に耳を傾け、積極的に子どもたちの意見を生活に中に取り入れていく。また、職員は、実践の中でのOJTを中心に外部研修会等を通じて、質の向上・支援の充実を図る。
- (3) 自立支援計画書を作成し、子ども個々に応じた進路選択や就労支援を行なうため、学校とも連携を図り、将来的に自立につながるように努めます。高校生については中退者ゼロを目指します。また、ルール等に縛られ過ぎず、家庭的な生活の中で、自立支援を行い、社会性が身につくような体験や経験を積めるように支援していく。
- (4) 現在進めている「完全ホーム調理化」計画に基づいて、各ユニットでの調理の機会を増やしていき、より家庭的、より個別的な食環境にしていく。また、子どもと一緒に調理する機会なども設け、子どもたちの食育に繋げる。
- (5) 完全ユニット調理化を進めること、各ユニットの定員を減らし、生活単位の少人数化すること、それに伴い小規模児童養護施設をもう一軒増やす方向で準備を進めていく。